



2022年5月13日

各 位

会 社 名：株式会社ゼンショーホールディングス  
代表者名：代表取締役会長兼社長兼CEO 小川 賢太郎  
(コード番号 7550 プライム市場)  
問合せ先：執行役員 グループ経理本部長 丹羽 清彦  
(TEL：03-6833-1600)

## サステナビリティファイナンス・フレームワーク策定及び サステナビリティボンド発行に関するお知らせ

当社は、ICMA（国際資本市場協会）のグリーンボンド原則およびソーシャルボンド原則等に定められている4つの要素（「1.調達資金の使途」、「2. プロジェクトの評価と選定のプロセス」、「3. 調達資金の管理」、「4. レポーティング」）に基づき、「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定しました。第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から最上位評価である「SU1(F)」を取得いたしました。

また国内市場において公募形式によるサステナビリティボンド（第5回無担保社債）を6月に発行する予定であり、本日5月13日に本発行に向けた社債の訂正発行登録書を関東財務局に提出いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. サステナビリティファイナンスフレームワーク策定について

##### (1) サステナビリティファイナンス・フレームワーク制定の目的

当社は、1982年の創業以来「世界から飢餓と貧困を撲滅する」ことを企業理念として掲げ、「食のインフラ」として、原材料の調達、加工、店舗への物流、お客様への提供まで自社が一貫して行う独自のマス・マーチャндаイジング・システムの構築を進め、フード業世界一を目指し国内外で事業を展開しております。かかる企業理念を実現する上で重要な課題である、①環境保全、②食品ロスの削減、③生産者・地域の社会的発展のサポートなどの活動資金を確保する為、本フレームワークを制定し、資金調達を行うものです。

(2) 調達資金の使途

適格クライテリア (適格プロジェクト分類)	適格プロジェクト例	GBP/SBP 事業区分	関連する SDGs
<p>[グリーンプロジェクト]</p> <p>工場・店舗の省エネ化・創エネ化(従来比、設備単体で30%以上のエネルギー効率の改善が見込まれるもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 工場・外食チェーン店舗の空調設備更新・新規店舗への導入</li> <li>➤ 工場・外食チェーン店舗における駐車場照明のLED化</li> </ul>	<p>エネルギー効率(グリーン)</p>	 
<p>[グリーンプロジェクト]</p> <p>再生可能エネルギー発電設備の導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ はま寿司の店舗及び工場の屋根における太陽光発電設備の導入</li> </ul>	<p>再生可能エネルギー(グリーン)</p>	
<p>[サステナビリティプロジェクト]</p> <p>チラー水洗浄機・コールドチェーン設備の導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 食材を低温洗浄・殺菌し、品質を高く保持しながら配送することで、その後の店舗における野菜洗浄工程の集約に資するチラー水洗浄機・コールドチェーン設備の導入</li> </ul>	<p>持続可能な水資源及び廃水管理(グリーン)</p> <p>社会経済的向上とエンパワーメント(働き方改革)(ソーシャル)</p>	 
<p>[ソーシャルプロジェクト]</p> <p>食品廃棄物削減に向けた設備導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ はま寿司の店舗へのストレートレーン導入</li> </ul>	<p>食糧の安全保障と持続可能な食糧システム(フードロスと廃棄物の削減)(ソーシャル)</p>	 
<p>[ソーシャルプロジェクト]</p> <p>フェアトレードによる調達</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ フェアトレードによるコーヒー、紅茶、カカオの調達</li> </ul>	<p>食糧の安全保障と持続可能な食糧システム(小規模生産者の生産性向上)(ソーシャル)</p> <p>社会経済の向上とエンパワーメント(所得格差の縮小を含む、市場と社会への公平な参加と統合)(ソーシャル)</p>	     

### (3) プロジェクトの評価と選定プロセス

フレームワークに基づくサステナビリティボンドの資金用途とする適格クライテリア及び適格プロジェクトは、グループ財務部が候補を選定し、社内関係各部との協議を経て、グループ経本部長が最終決定し代表取締役の承認を得て、その結果を取締役に報告しております。

### (4) 調達資金の管理

グループ財務部が、フレームワークに基づいて調達した資金について、適格プロジェクトへの充当や管理を、内部管理システムを用いて行います。調達資金については、その同額が適格プロジェクトまたは適格プロジェクトの実施において調達した借入金等の返済資金に充当されるため、原則として未充当金は発生しない予定であるものの、適格プロジェクトへの充当期の遅れ等により調達資金の未充当期間が発生する場合、未充当金は現金及び現金同等物にて管理されます。

資金充当完了後も、資金用途の対象となるプロジェクトに当初の想定と異なる事象の発生や売却が生じた場合、当該事象及び未充当資金の発生状況に関し、当社ウェブサイト等で速やかに開示を行います。

### (5) レポートニング

資金充当状況レポートニング及びインパクト・レポートニングを、当社ウェブサイト等にて年次で開示します。初回の開示は、サステナビリティボンド発行から1年以内に行う予定です。

## 2. サステナビリティボンド（第5回無担保社債）の概要

発行年限	5年（予定）
発行額	100億円（予定）
発行時期	2022年6月（予定）
主幹事証券会社	みずほ証券株式会社、 野村証券株式会社、 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、 大和証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント	みずほ証券株式会社
資金用途	調達資金については、下記のいずれかに充当予定です。 ①工場・店舗の空調設備更新・新規店舗への導入 ②工場・店舗における駐車場照明のLED化 ③はま寿司の店舗及び工場への太陽光発電設備導入 ④野菜洗浄工程集約・コールドチェーン化に向けた設備投資 ⑤はま寿司のストレートレーン導入 ⑥フェアトレードによる調達
外部評価	サステナビリティファイナンスフレームワークの策定にあたり、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から最上位である「SU1(F)」の評価を取得しました。

以上